

福県医発第766号(地)

平成16年 7月23日



各医師会長 殿

福岡県医師会

会長 竹嶋 康弘



救命救急センターの評価結果(平成16年度)について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、厚生労働省医政局指導課より平成16年度における救命救急センターの評価結果が公表され、別添のとおり、日本医師会より通知がありましたのでご連絡申し上げます。

本評価は、救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施されており、その評価結果は救命救急センターに対する運営費補助(30床以上で補助基準額135百万円。国庫補助率1/3)に反映されますが、本評価の対象は診療体制等であって各救命救急センターの診療水準そのものを評価したものではありません。

また、本評価は各救命救急センターによる自己申告に基づくものに過ぎず、地域医師会や医療機関等によるその地域全体からみた客観的な評価ではありません。そのため、救命救急センターによっては、A評価を受けていても、地域の医師会からみれば十分にその役割を果たしていない例もあり得ますとのことであります。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただきますようよろしくお願いいたします。

なお、前年度の評価結果から変更のあります医療機関につきましては、診療報酬における救命救急入院料に係る減算の施設基準について、本年8月1日より診療報酬の算定の見直しが必要となりますので、「基本診療料の施設基準及びその届出に関する手続きの取扱い(平成16年2月27日保医発第0227002号)」に基づき、遅滞なく変更の届出が行われますよう周知方よろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

担当理事 島田昇二



(地 71)
平成16年7月16日

都道府県医師会
担 当 理 事 殿

日本医師会常任理事
雪 下 國 雄

救命救急センターの評価結果（平成16年度）について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて今般、厚生労働省医政局指導課より平成16年度における救命救急センターの評価結果が公表されましたので、送付いたします。

本評価は、救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施されており、その評価結果は救命救急センターに対する運営費補助（30床以上で補助基準額135百万円。国庫補助率1/3）に反映されることとなります。なお、本年度より、評価項目の追加及び各評価段階の点数区分の改訂が行われております。

また、本評価は診療体制面を中心に行い、各救命救急センターの診療水準そのものを評価したものではありません。

本評価は、各救命救急センターによる自己申告に基づくものに過ぎず、当該地域の医師会や医療機関等による客観的な評価ではありません。そのため、救命救急センターによっては、A評価を受けていても、地域の医師会等からみれば十分にその役割を果たしていない例もあり得ます。本会では、かねてより救命救急センターの評価方法等の見直しを厚生労働省に対して求めてきましたが、今後も地域からの客観的な評価とするよう求めていく所存であります。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了知いただくとともに、貴会管下地域の救命救急センターに対する指導方につきご高配の程よろしくお願い申し上げます。

なお、前年度の評価結果から変更のある医療機関につきましては、診療報酬における救命救急入院料に係る減算の施設基準について、本年12月1日より診療報酬の算定の見直しが必要となりますので、「基本診療料の施設基準及びその届出に関する手続きの取扱い（平成16年2月27日保医発第0227002号）」に基づき、遅滞なく変更の届出が行われますよう周知方お願いいたします。

(照会先)
厚生労働省医政局指導課
宮本課長補佐、廣井係長
代表 03-5253-1111
内線(2554、2550)
直通 03-3595-2194

救命救急センターの評価結果（平成 16 年度）について

1 評価の目的

- 救命救急センターの評価については、救急医療体制基本問題検討会報告書（平成 9 年 12 月）における「既存の救命救急センターを再評価し、その機能を強化する」との提言等を踏まえ、平成 11 年度から救命救急センター全体のレベルアップを図ることを目的として実施している。
- 評価結果は、救命救急センターに対する運営費補助（30 床以上で補助基準額 135 百万円。国庫補助率 1 / 3）に反映させている。

（充実段階 A：補助基準額の 100% を交付
・充実段階 B：補助基準額の 90% を交付
・充実段階 C：補助基準額の 80% を交付）

2 評価結果の概要

- 平成 15 年 12 月 31 日までに運営を開始した全国 170 ヶ所の救命救急センターを対象としており、各センターの評価結果（充実段階）は、資料 1 のとおりである。
- 充実段階 A と評価された施設の割合は 95.9% であり（平成 15 年度は 96.4%）、ほとんどの施設が充実段階 A となっている。（資料 2，3 参照）

3 評価の方法及び評価結果に関する留意事項

- 各救命救急センターからの診療体制や患者受入実績等に関する報告結果を点数化し、当該点数を基本として、各施設の充実段階を A，B，C に区分した。（資料 4 参照）
- 評価の対象となった診療体制等は、平成 15 年の実績に基づいている。
- 評価は、診療の体制面を中心に行っており、各救命救急センターの診療水準そのものを評価したものではない。

4 平成 17 年度以降の評価について

- 平成 16 年度から運営を開始した新型救命救急センター（10 床規模）について、別途評価方法を定め（資料 5 参照）、評価を行うこととする。

救命救急センター別充実段階（平成16年度）

都道府県	施設名	開設者	充実段階
北海道	旭川赤十字病院	日 赤	A
北海道	北海道がんセンター	国立病院機構	A
北海道	市立函館病院	函 館 市	A
北海道	市立釧路総合病院	釧 路 市	B
北海道	総合病院北見赤十字病院	日 赤	A
北海道	市立札幌病院	札 幌 市	A
北海道	帯広厚生病院	厚 生 連	A
北海道	札幌医科大学医学部附属病院	北 海 道	A
青 森 県	青森県立中央病院	青 森 県	A
青 森 県	八戸市立市民病院	八 戸 市	B
岩 手 県	岩手医科大学附属病院	学 校 法 人	A
岩 手 県	県立久慈病院	岩 手 県	A
岩 手 県	県立大船渡病院	岩 手 県	B
宮 城 県	仙台医療センター	国立病院機構	A
宮 城 県	仙台市立病院	仙 台 市	A
宮 城 県	古川市立病院	古 川 市	A
秋 田 県	秋田赤十字病院	日 赤	A
山 形 県	山形県立中央病院	山 形 県	A
山 形 県	公立置賜総合病院	事 務 組 合	A
福 島 県	いわき市立総合磐城共立病院	い わ き 市	A
福 島 県	財団法人太田総合病院附属太田西ノ内病院	財 団 法 人	A
福 島 県	総合会津中央病院	財 団 法 人	A
茨 城 県	水戸医療センター	国立病院機構	A
茨 城 県	筑波メディカルセンター病院	財 団 法 人	A
茨 城 県	総合病院土浦協同病院	厚 生 連	A

都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
茨 城 県	茨城西南医療センター病院	厚 生 連	A
栃 木 県	済生会宇都宮病院	済 生 会	A
栃 木 県	足利赤十字病院	日 赤	A
栃 木 県	大田原赤十字病院	日 赤	A
栃 木 県	獨協医科大学病院	学 校 法 人	A
栃 木 県	自治医科大学附属病院	学 校 法 人	A
群 馬 県	高崎病院	国立病院機構	A
群 馬 県	前橋赤十字病院	日 赤	A
埼 玉 県	さいたま赤十字病院	日 赤	A
埼 玉 県	埼玉医科大学総合医療センター	学 校 法 人	A
埼 玉 県	深谷赤十字病院	日 赤	A
埼 玉 県	防衛医科大学校病院	防 衛 庁	A
埼 玉 県	川口市立医療センター	川 口 市	A
埼 玉 県	獨協医科大学越谷病院	学 校 法 人	A
千 葉 県	千葉県救急医療センター	千 葉 県	A
千 葉 県	総合病院国保旭中央病院	事 務 組 合	A
千 葉 県	国保直営総合病院君津中央病院	事 務 組 合	A
千 葉 県	亀田総合病院	医 療 法 人	A
千 葉 県	国保松戸市立病院	松 戸 市	A
千 葉 県	成田赤十字病院	日 赤	A
千 葉 県	船橋市立医療センター	船 橋 市	A
千 葉 県	日本医科大学付属千葉北総病院	学 校 法 人	A
東 京 都	日本医科大学付属病院	学 校 法 人	A
東 京 都	東京医療センター	国立病院機構	A
東 京 都	東邦大学医学部付属大森病院	学 校 法 人	A
東 京 都	杏林大学医学部付属病院	学 校 法 人	A
東 京 都	都立広尾病院	東 京 都	A

都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
東 京 都	東京医科大学八王子医療センター	学 校 法 人	A
東 京 都	武蔵野赤十字病院	日 赤	A
東 京 都	帝京大学医学部附属病院	学 校 法 人	A
東 京 都	日本医科大学付属多摩永山病院	学 校 法 人	A
東 京 都	都立墨東病院	東 京 都	A
東 京 都	東京女子医科大学病院	学 校 法 人	A
東 京 都	都立府中病院	東 京 都	A
東 京 都	駿河台日本大学病院	学 校 法 人	A
東 京 都	日本大学医学部附属板橋病院	学 校 法 人	A
東 京 都	公立昭和病院	事 務 組 合	A
東 京 都	災害医療センター	国立病院機構	A
東 京 都	東京医科大学病院	学 校 法 人	A
東 京 都	昭和大学病院	学 校 法 人	A
東 京 都	東京女子医科大学附属第二病院	学 校 法 人	A
東 京 都	聖路加国際病院	財 団 法 人	A
東 京 都	青梅市立総合病院	青 梅 市	A
神 奈 川 県	聖マリアンナ医科大学病院	学 校 法 人	A
神 奈 川 県	横浜医療センター	国立病院機構	A
神 奈 川 県	北里大学病院	学 校 法 人	A
神 奈 川 県	東海大学医学部附属病院	学 校 法 人	A
神 奈 川 県	昭和大学藤が丘病院	学 校 法 人	A
神 奈 川 県	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	学 校 法 人	A
神 奈 川 県	横浜市立大学医学部附属市民総合医療センター	横 浜 市	A
新 潟 県	長岡赤十字病院	日 赤	A
新 潟 県	新潟市民病院	新 潟 市	A
新 潟 県	新潟県立中央病院	新 潟 県	A
富 山 県	富山県立中央病院	富 山 県	A

都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
富 山 県	厚生連高岡病院	厚 生 連	A
石 川 県	石川県立中央病院	石 川 県	A
石 川 県	公立能登総合病院	事 務 組 合	A
福 井 県	福井県立病院	福 井 県	A
山 梨 県	山梨県立中央病院	山 梨 県	A
長 野 県	昭和伊南総合病院	事 務 組 合	B
長 野 県	長野赤十字病院	日 赤	A
長 野 県	佐久総合病院	厚 生 連	A
岐 阜 県	県立岐阜病院	岐 阜 県	A
岐 阜 県	県立多治見病院	岐 阜 県	A
岐 阜 県	高山赤十字病院	日 赤	A
岐 阜 県	大垣市民病院	大 垣 市	A
岐 阜 県	岐阜県厚生連中濃病院	厚 生 連	A
静 岡 県	静岡済生会総合病院	済 生 会	A
静 岡 県	順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院	学 校 法 人	A
静 岡 県	県西部浜松医療センター	浜 松 市	A
静 岡 県	静岡赤十字病院	日 赤	A
静 岡 県	聖隷三方原病院	社会福祉法人	A
愛 知 県	名古屋掖済会病院	海 員 掖 済 会	A
愛 知 県	名古屋医療センター	国立病院機構	A
愛 知 県	愛知医科大学附属病院	学 校 法 人	A
愛 知 県	藤田保健衛生大学病院	学 校 法 人	A
愛 知 県	岡崎市民病院	岡 崎 市	A
愛 知 県	豊橋市民病院	豊 橋 市	A
愛 知 県	名古屋第二赤十字病院	日 赤	A
愛 知 県	小牧市民病院	小 牧 市	A
愛 知 県	安城更生病院	厚 生 連	A

都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
愛 知 県	社会保険中京病院	社 団 法 人	A
愛 知 県	名古屋第一日赤病院	日 赤	A
三 重 県	山田赤十字病院	日 赤	A
三 重 県	三重県立総合医療センター	三 重 県	A
滋 賀 県	大津赤十字病院	日 赤	A
滋 賀 県	長浜赤十字病院	日 赤	A
滋 賀 県	済生会滋賀県病院	済 生 会	A
京 都 府	京都第二赤十字病院	日 赤	A
京 都 府	京都医療センター	国立病院機構	A
京 都 府	京都第一赤十字病院	日 赤	A
大 阪 府	大阪府立急性期・総合医療センター	大 阪 府	A
大 阪 府	関西医科大学附属病院	学 校 法 人	A
大 阪 府	大阪府立千里救命救急センター	大 阪 府	A
大 阪 府	大阪医療センター	国立病院機構	A
大 阪 府	近畿大学医学部附属病院	学 校 法 人	A
大 阪 府	大阪府三島救命救急センター	財 団 法 人	A
大 阪 府	大阪市立総合医療センター	大 阪 市	A
大 阪 府	大阪府立泉州救命救急センター	大 阪 府	A
大 阪 府	大阪府立中河内救命救急センター	大 阪 府	A
大 阪 府	大阪大学医学部附属病院	国立大学法人	A
兵 庫 県	神戸市立中央市民病院	神 戸 市	A
兵 庫 県	兵庫医科大学病院	学 校 法 人	A
兵 庫 県	県立姫路循環器病センター	兵 庫 県	A
兵 庫 県	公立豊岡病院但馬救急センター	事 務 組 合	B
兵 庫 県	兵庫県災害医療センター	兵 庫 県	A
奈 良 県	県立奈良病院	奈 良 県	A
奈 良 県	奈良県立医科大学附属病院	奈 良 県	A

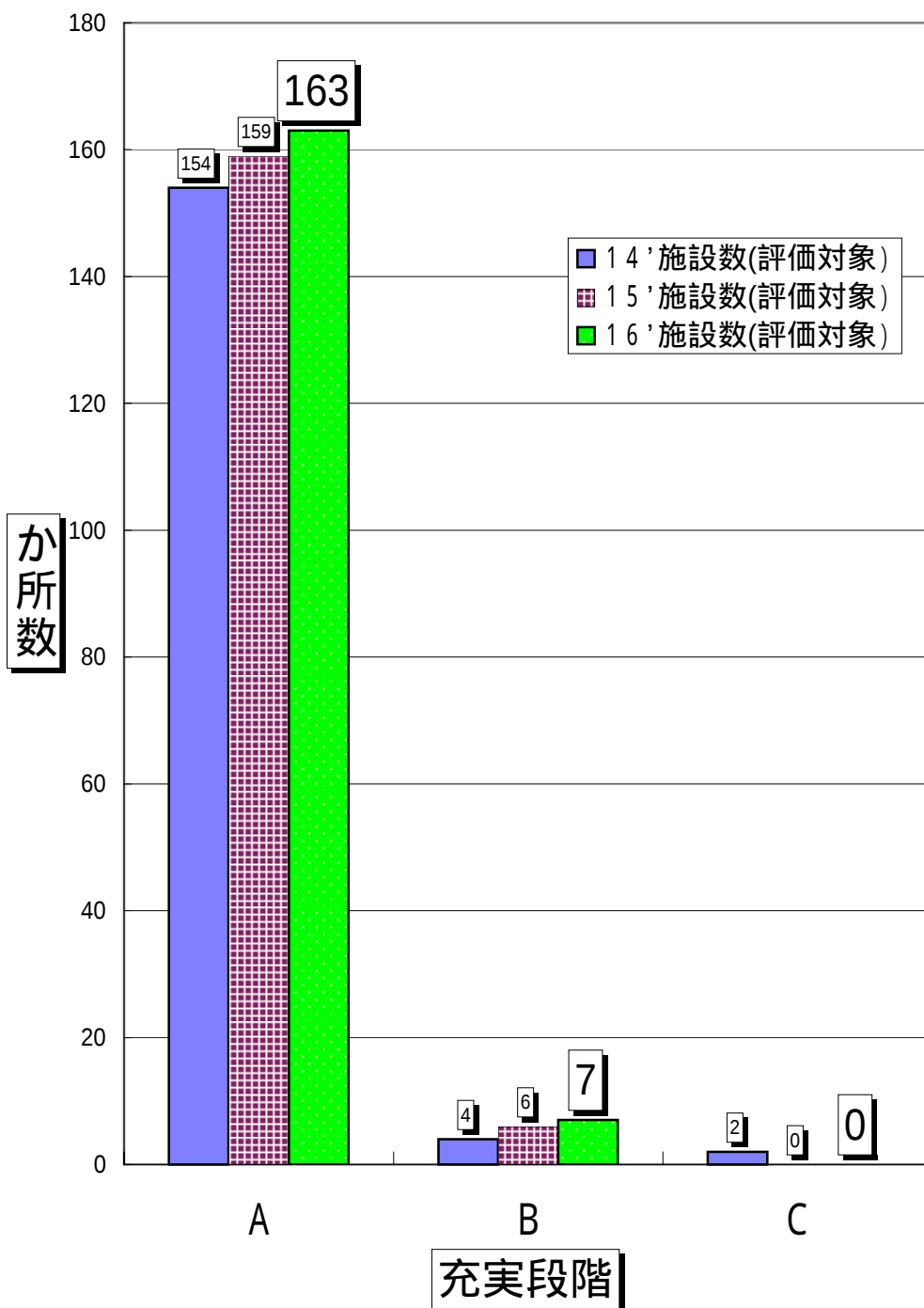
都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
奈 良 県	近畿大学医学部附属奈良病院	学 校 法 人	A
和 歌 山 県	日本赤十字社和歌山医療センター	日 赤	A
和 歌 山 県	和歌山県立医科大学附属病院	和 歌 山 県	A
鳥 取 県	鳥取県立中央病院	鳥 取 県	A
島 根 県	島根県立中央病院	島 根 県	A
岡 山 県	川崎医科大学附属病院	学 校 法 人	A
岡 山 県	総合病院岡山赤十字病院	日 赤	A
岡 山 県	津山中央病院	財 団 法 人	A
広 島 県	広島市立広島市民病院	広 島 市	A
広 島 県	呉医療センター	国立病院機構	A
広 島 県	県立広島病院	広 島 県	A
山 口 県	岩国医療センター	国立病院機構	A
山 口 県	山口県立中央病院	山 口 県	A
山 口 県	山口大学医学部附属病院	国立大学法人	A
徳 島 県	徳島県立中央病院	徳 島 県	A
徳 島 県	徳島赤十字病院	日 赤	A
香 川 県	香川県立中央病院	香 川 県	A
香 川 県	香川大学医学部附属病院	国立大学法人	A
愛 媛 県	愛媛県立中央病院	愛 媛 県	A
愛 媛 県	愛媛県立新居浜病院	愛 媛 県	A
愛 媛 県	市立宇和島病院	宇 和 島 市	A
高 知 県	高知赤十字病院	日 赤	A
福 岡 県	北九州市立八幡病院	北 九 州 市	A
福 岡 県	済生会福岡総合病院	済 生 会	A
福 岡 県	久留米大学病院	学 校 法 人	A
福 岡 県	飯塚病院	会 社	A
福 岡 県	福岡大学病院	学 校 法 人	A

都道府県	施 設 名	開 設 者	充実段階
福 岡 県	北九州総合病院	医 療 法 人	A
佐 賀 県	佐賀県立病院好生館	佐 賀 県	A
長 崎 県	長崎医療センター	国立病院機構	A
熊 本 県	熊本赤十字病院	日 赤	A
熊 本 県	熊本医療センター	国立病院機構	A
大 分 県	大分市医師会立アルメイダ病院	大分市医師会	A
宮 崎 県	県立宮崎病院	宮 崎 県	B
宮 崎 県	県立延岡病院	宮 崎 県	B
鹿 児 島 県	鹿児島市立病院	鹿 児 島 市	A
沖 縄 県	沖縄県立中部病院	沖 縄 県	A

施設名・開設者は平成16年4月1日現在

計 170施設

救命救急センター充実段階別施設数



	A	B	C	計
14' 施設数(評価対象)	154	4	2	160
15' 施設数(評価対象)	159	6	0	165
16' 施設数(評価対象)	163	7	0	170
14' 構成割合(%)	96.3%	2.5%	1.3%	100.0%
15' 構成割合(%)	96.4%	3.6%	0.0%	100.0%
16' 構成割合(%)	95.9%	4.1%	0.0%	100.0%

救命救急センター評価設置主体別充実段階

設置主体	充実段階 A	充実段階 B	充実段階 C	合 計
国	18 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	18 施設 (100 %)
自治体	62 施設 (89.9 %)	7 施設 (10.1 %)	—	69 施設 (100 %)
公 的 3 団体	37 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	37 施設 (100 %)
民 間 (私立医大等)	46 施設 (100 %)	0 施設 (0 %)	—	46 施設 (100 %)
全 体	163 施設 (95.9 %)	7 施設 (4.1 %)	—	170 施設 (100 %)

国には、国立病院機構、国立大学法人を含む。
公的 3 団体は、日赤、済生会、厚生連。

救命救急センターの充実段階の評価方法について

- 1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成 15 年 12 月末現在）」による調査の回答結果等に基づき、「救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数の区分に応じ、次表のとりの「充実段階」として評価する。

19 点以上	充実段階 A
12 点以上 18 点以下	充実段階 B
11 点以下	充実段階 C

- 2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階 A」として評価する。

- ・ 重症患者数 750 人以上 かつ
- ・ 在院日数 7 日以内 かつ
- ・ 病床利用率 75 % 以上 かつ
- ・ 診療点数 12,000 点以上 かつ
- ・ 院外患者受入率 55 % 以上

救命救急センターの評価項目及び配点

- 1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況
 - ・ 参加していない : 1点
- 2 併設（母体）病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点

単独センターにおいては、センター内設置で加点
- 3 空床確保の責任体制
 - ・ 併設（母体）病院で確保 : 2点
 - ・ センターで確保 : 0点

単独センターにおいては、センター確保で加点
- 4 空床確保数
 - ・ 5床以上 : 3点
 - ・ 4床 : 2点
 - ・ 3床 : 1点
 - ・ 特に確保に努めていない。0～2床 : 0点

確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ
- 5 センター担当医師の勤務体制
 - ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
 - ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
 - ・ その他 : 0点
- 6 救急専用電話の有無
 - ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 7 救急専用電話の対応体制
 - ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
 - ・ 上記以外 : 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
- ・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : 1点
- 9 救急救命士に対する指示体制
- ・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : 1点
- 10 診療データの集計・分析
- ・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 外傷患者の各種スコア
 - ・ その他
- } : 1点（全て揃って）
- : 0点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
- ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
- ・ 5人以上 : 3点
 - ・ 4人 : 2点
 - ・ 3人 : 1点
 - ・ 2人以下 : 0点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
- ・ 2人以下 : 1点
- 14 センター病床の稼働率
- (1) 集中治療病室のみ
- ・ 60%未満 : 1点
- (2) 集中治療病室以外
- ・ 70%未満 : 1点
- 15 重症傷病者数
- ・ 1,000人以上 : 3点
 - ・ 750人以上、1,000人未満 : 2点
 - ・ 500人以上、750人未満 : 1点
 - ・ 500人未満 : 0点
- 30床未満のセンターのみ、患者数を30床換算する。

16 専任医師数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 5人未満 : 0点

17 平均在院日数

- | | | | |
|--------------|---|----|--------------------------------------|
| ・ 7日以内 | : | 3点 | センター病床40床
以上の場合
3点
2点
1点 |
| ・ 7日超、11日以内 | : | 2点 | |
| ・ 11日超、14日以内 | : | 1点 | |
| ・ 14日超 | : | 0点 | |

ただし、適用に当たっては、
14(2)が80%以上であること。

18 センター患者1人当たり平均入院診療点数

- | | | |
|-------------|--------------------|----------|
| | センター病床40床
以上の場合 | |
| ・ 10,000点以上 | | 7,000点以上 |
| ・ 10,000点未満 | 7,000点未満 | : 0点 |

ただし、適用に当たっては、14(2)が80%以上であること。

19 救命救急士の研修受け入れ実績

- ・ 250人日以上 : 3点
- ・ 150人日以上、250人日未満 : 2点
- ・ 100人日以上、150人日未満 : 1点
- ・ 100人日未満 : 0点

20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル

- ・ 無し : 1点

21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修

- ・ 実施していない : 1点

22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門(医師、看護師、診療技術、事務)別において年2回以上実施

- ・ している : 2点
- ・ していない : 0点

23 貴院における日本救急医学会専門医または認定医

- ・ いない : 1点(日本救急医学会指導医がいるなら減点しない)

24 貴院における日本救急医学会専門医数（認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む）

(1) センター専任医数

- ・ 5人以上 : 3点
- ・ 4人 : 2点
- ・ 3人 : 1点
- ・ 0～2人 : 0点

(2) センター外常勤医

- ・ 5人以上 : 1点
- ・ 5人未満 : 0点

資料 5

新型救命救急センターの充実段階の評価方法について

- 1 「救急医療対策事業等の現況調について（平成 16 年 12 月末現在）」による調査の回答結果に基づき、「救命救急センターの評価項目及び配点」に基づく配点を行い、その合計点数を区分に応じ、次表のとりの「充実段階」として評価する。

19 点以上	充実段階 A
12 点以上 18 点以下	充実段階 B
11 点以下	充実段階 C

- 2 上記の充実段階に関わらず、下記内容のすべてを満たす救命救急センターについては、「充実段階 A」として評価する。

・重症患者数	<u>250</u> 人以上	かつ
・在院日数	7 日以内	かつ
・病床利用率	75 %以上	かつ
・診療点数	12,000 点以上	かつ
・院外患者受入率	55 %以上	

新型救命救急センターの評価項目及び配点

1 二次医療圏における救急医療関係者協議会への参加状況

- ・ 参加していない : 1点

2 併設（母体）病院内におけるセンター機能の評価委員会の設置状況

- ・ 有 : 1点
- ・ 無 : 0点

単独センターにおいては、センター内設置で加点

3 空床確保の責任体制

- ・ 併設（母体）病院で確保 : 2点
- ・ センターで確保 : 0点

単独センターにおいては、センター確保で加点

4 空床確保数

- ・ 3床以上 : 3点
- ・ 2床 : 2点
- ・ 特に確保に努めていない。0～1床 : 0点

確保病床数に幅がある場合は、平均、端数切り上げ

5 センター担当医師の勤務体制

- ・ 救急医による専任チーム体制 又は
救急医を核とし各診療科との協力で専任チーム体制 : 3点
- ・ 救急医を核とした各診療科との当直体制 : 2点
- ・ その他 : 0点

6 救急専用電話の有無

- ・ 有 : 1点
- ・ 無 : 0点

7 救急専用電話の対応体制

- ・ センター専任医、その他の医師 : 1点
- ・ 上記以外 : 1点

- 8 「受け入れ不可」の判断体制
- ・ 病院長、センター長、センター専任医以外 : 1点
- 9 救急救命士に対する指示体制
- ・ 救急専用電話により、必ず医師が即応以外 : 1点
- 10 診療データの集計・分析
- ・ 傷病別患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 重傷度分類患者数（入院、外来、月別）
 - ・ 外傷患者の各種スコア
 - ・ その他
- } : 1点（全て揃って）
 : 0点
- 11 救急医療についても検討する倫理委員会の設置状況
- ・ 有 : 1点
 - ・ 無 : 0点
- 12 深夜帯におけるセンターの医師数
- ・ 3人以上 : 3点
 - ・ 2人 : 2点
 - ・ 1人以下 : 0点
- 13 深夜帯におけるセンター以外の医師数
- ・ 1人以下 : 1点
- 14 センター病床の稼働率
- (1)集中治療病室のみ
- ・ 60%未満 : 1点
- (2)集中治療室以外
- ・ 70%未満 : 1点
- 15 重症傷病者数
- ・ 400人以上 : 3点
 - ・ 250人以上、400人未満 : 2点
 - ・ 200人以上、250人未満 : 1点
 - ・ 200人未満 : 0点

16 専任医師数

- ・ 3人以上 : 3点
- ・ 2人 : 2点
- ・ 0～1人 : 0点

17 平均在院日数

- ・ 7日以内 : 3点
- ・ 7日超、11日以内 : 2点
- ・ 11日超、14日以内 : 1点
- ・ 14日超 : 0点

18 センター患者1人当たり平均入院診療点数

- ・ 10,000点以上 : 2点
- ・ 10,000点未満 : 0点

19 救急救命士の研修受け入れ実績

- ・ 50人日以上 : 3点
- ・ 25人日以上、50人日未満 : 2点
- ・ 10人日以上、25人日未満 : 1点
- ・ 10人日未満 : 0点

20 貴院における医療事故防止に関するマニュアル

- ・ 無し : 1点

21 貴院における医療事故防止・患者安全をテーマにした研修

- ・ 実施していない : 1点

22 貴院における研修は年2回以上、又は、各部門（医師、看護師、診療技術、事務）別において年2回以上実施

- ・ している : 2点
- ・ していない : 0点

23 貴院における日本救急医学会専門医又は認定医

- ・ いない : 1点（日本救急医学会指導医がいるなら減点しない）

24 貴院における日本救急医学会専門医数(認定医数及び認定医資格も持つ指導医数含む)

(1)センター専任医数

- ・ 3人以上 : 3 点
- ・ 2人 : 2 点
- ・ 1人 : 1 点
- ・ 0人 : 0 点

(2)センター外常勤医

- ・ 2人以上 : 1 点
- ・ 2人未満 : 0 点